夕刊
磐城時報
廿五日發行
福島縣平市紺屋町十四 編輯兼發行 印刷人 岡田弘成
福島縣平市紺屋町十四 印刷所 磐城時報社
福島縣平市紺屋町十四 發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金廿錢
廣告料一行十四字詰五十錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

防空訓練第一日 非常な好成績 柴田平署長語る

防空訓練第一日の二十四日は警防團に於ては午前九時警報、防毒、救護、配給、工作、避難所管理、交通整理、消防の各部及び各分團の警報部、燈火管制部消防部の全員が警防團本部に當てられた平警察署前に集合、待機中午前二時十三分警戒警報發令と同時に整列國旗掲揚、關内警防團長挨拶、柴田平署長訓示青沼市長激勵の辭等があり各部夫々部署に就き當日の勤務計畫を實行した、同時に全町家庭防空群並に一般家庭に於ても夫々警戒管制に入つたが第一日の成績について柴田平署長は次の如く語つた

『警戒警報發令と同時に各家庭防空群では直ちに消火用砂水道ホース、濡れ莚等を用意し水槽には水を滿し待機の姿勢をとつた活動ぶりは前回の演習に比較し非常な進歩ぶりで好成績であつた事は喜ばしい、午後五時五分以後は警戒管制下の就業の指導を行つたが之亦豫期以上の好成績であつた市民一般が防空思想を適確に認識した結果だと思ふ』

明日から綜合訓練 平上空に飛行機が來る

明二十六日から防空演習は愈々第二期に入るわけで二十六日第一回の空襲警報發令と同時に綜合訓練に移る事となる、二十六日から最終日までの間には平市の上空に飛行機が飛來する筈で味方の飛行機は晝間は機尾に白布を吹き流し夜間は兩翼と尾に紅色の電燈を點じてゐるが敵機は何等の標識もつけてゐないから注意が肝要である敵機飛來と同時に空襲警報が發令されることになつてゐる

銃後會に寄附

平飲食店組合では創立紀念として五圓を平市銃後奉公會に寄附した

泥棒して 高飛計劃

二十四日午後十一時頃内郷村金坂地内を無燈火自轉車に乘つてゐる男の擧動が不審なので平署に引致取調べた處同人は内郷村宮澤磐炭軌道夫市村一郎(二三)で去る八月懲役五年の刑を終え網走刑務所を出所したもので、自轉車を盗み賣り拂つて高飛びせんとしてゐた事を自白したが余罪ある見込みである

小名濱に賊

最近小名濱町附近に窃盜が出沒し各地を荒し廻つてゐるので平署では同町警部補派出所と連絡をとり犯人厳探中であるが、去る十八日午前十一時頃は石井醫院醫務室に賊侵入机の中から現金十圓を盗み十九日未明には同町小泉屋洋品店に侵入して洋品類百圓を窃取した者あり同一犯人らしと見られてゐる

江筋の地下採掘 愈々反對の上申 小川江筋組合で提出

小川江筋水利組合では過般臨時總會を開いたが席上、赤井村日曹炭礦が平市當局の贊成を得て平市上平窪の地下の石炭採掘を行つてゐるが同地上には一市一町三ヶ村三千町歩に灌漑する小川江筋の水路があり地下採掘によつて陷沒或ひは龜裂のおそれがあるから平市當局の同意があつたとは言へ禁止するやう仙臺礦山監督局に上申書を出し度いとの建議案があり滿場一致決定したが愈々一兩日中に右の旨上申書を提出する事になつた

磐城水產工業 八分配當

小名濱町磐城水產工業組合では二十三日株主總會を開き、今期配當を八分と決定した

營林署長宅の 窃盜犯起訴

平市六間門平營林署長樋口正敏氏宅を襲つた外市内一丁目常盤屋時計店、二丁目根本時計店等を荒した窃盜犯前科四犯東京市品川區大井鎧町生れ三浦酉造(四三)は平檢事局で取調べ中であつたが二十四日起訴公判に附せられた

國民貯蓄の成績 優良者を表彰 平市役所で調査

平市役所では縣からの依頼により市内國民貯蓄に關し特に優秀な成績をあげてゐる組合、團体奬勵者を調査中であるが右は國民貯蓄奬勵局で表彰する筈である

入山の泥棒公判

茨城縣磯原町生れ菅野虎吉(三六)は入山炭礦に雇はれ中同僚の所持金、衣類を窃取逃走し、平署から檢事局に送られたが二十四日起訴された

兵隊から 銃後の皆さんへ

佐藤隊 鈴木生

地軸もとかすかと思はれた炎熱の大陽も何時しか爽涼の氣を含んで、白々とした光りが曠茫限りなき砂の平原にきらめくやうになり、夏の間眼路もはるか高粱畠のに大なる孤兒の如くに浮動しつゝあつた眞白な綿雲もすつかり消えつくして紺一碧の空が高々とひろげられて來ました、地上の高粱は支那式の怪奇を思はせる迅速さでアツといふ間に刈りとられてしまつて、驚くべき茫漠とした原野が現れ、そのところ〴〵に刈り殘されたヒョロ高い高粱が爽々たる秋風を樂しんでゐるかのやうにゆらり〳〵とゆられてゐるのであります、夏の間敵は絶好の庇敵物であつた高粱畠に隱れて蚤のやうな運動を續け皇軍の治安肅正工作を防害して來るのであつたが殘念なことに一人殘らず叩きつぶすことが出來なかつた、しかしもう高粱はなくなつた、小麥もなくなつた彼等を守る何物もなくなつた、今度こそは徹底的に叩きつぶすことが出來るのだと思ふと血はたぎり腕は鳴るこうなつたら敵は眞白なシーツにとび出した蚤みたいなものでこれをつまみとるに苦勞はいらないのだ、蚤と云へば眞夏の間蝎や蚊が跳梁してゐた間には殆ど姿を見せなかつた蚤や南京虫が快適の氣候となつた、秋の夜を横行して居ります、蚤の秋季攻勢とでも言ふのであらうか、私達は過去に於て蔣介石の四月攻勢夏季攻を完膚なきまで封殺して來たがこれ等小動物の跳梁には辟易せざるを得ない、これが眞物の敵だつたらたとへ秋季攻勢とやらを唱へたにしてもグーの音も出させはしないのだが……これといふのも秋とは云へ日中の最高溫度五十度といふ暑氣のためであらう、私達は十月中旬だといふのに晝間はシャツ一枚になつて討伐にも出ろ警備にも服するのである、しかも夜になると氣溫は急激に下つて四度五度といふ寒さだ、冬外套にくるまつても『寒い』思はずかう云つてしまふのです眞黒な綿のはみだした着物を着て歩く支那人の有樣も成程とうなづけるのであります、內地の皆さんの勞苦も戰線にある私共に勝るとも劣らないものでありませう、毎日下さる慰問激勵の文を拜讀する毎に深い感謝を禁じ得ませんが、お互に一生懸命この時局を打開して行きませう

滿支慰問旅行手記【二】

慰問使 篠山廉

(十月六日ハルビンにて)

北滿の大都ハルビン驛頭に立ち、遙かに紅い夕日の果てなき曠野に沈むを眺めつゝ、往年伊藤博文公の殉國の跡に敬意を表し候、市內大規模白色人の多數に見受ける樣全く異鄕に在る感を始めて致し候、しかし車の驛に入るやマイクホンは邦語にて案內する樣皇國の有難き唯に涙のこぼるゝ思ひを致し候、明日は滯在、明後日は新京に飛ぶ豫定に候

(十月九日濱綏線車中にて)

ハルビンの一夜

此の街は露人の築いた都會だけに全市が北歐的な異國情緒に富み恰も歐米も斯へこそと思はしめる、試みに食堂に入れば露娘が美しい態度で給仕をしてくれる、宿屋の下働きも堂々たる白人が美髯を蓄へて活動してゐ、しかし邦人と見るやまるで羊の如く順正こゝにも皇民の誇りを覺えさせる、此地伊藤公を始め志士橫川沖等の志士の壯烈なる殉國の地、今尊い記念碑の前に恭しく靈の〇〇を偲ぶとき、無限の感激を覺え涙滂沱たるを禁ずる能はず、暫く默禱を捧げて英靈長へに靜かに眠れよと東の空を望んで絶叫した、此夜八時半頃ホテルの隣室に火災起り命から〴〵避難するさわぎ、西洋造の火災は又格別の恐ろしさだ、先づ電燈は突如消えるエレベーターは動かないしかし無事に過したが今思へば天祐であつた

(十月九日新京大和ホテルにて)

國都大新京の驛頭に八日午後三時立つた、導かるゝまゝにあたりを見れば共規模の大なる事、さすがは近代都市の粹を集めたと誇る丈けに凡てが驚くばかりだ、其道路の美しく幅の廣い事全市の面積の三割七分が道の面積だとの說明を聞かされた、其の幅廣きは六十米、狹きも三十米、今育ち盛りの街路樹が茂つてゐる路面には馬糞一つ落ちてゐない、見れば馬平馬は糞受けをさげてゐる馬の(ふんどし)は生れて初めて見せられた驢の樣な話だ、同窓の松川君の案內で開會中の滿洲議會を傍聽する事が出來たが全國百七十の代議士日、〇、蒙、鮮人一々通譯つきでの演說、議場整然として極めて靜肅日比野それとは全く別物だ、さすがは自重せるものだ

平市人事錄

○出生 三倉町八鈴木一男氏長男正典君、紺屋町四八齋藤菊三郎氏二男敏雄君、同二女節子さん、平市久保町目下東京市淺草區橋場町三の三佐藤敏彌氏二男精治、平市仲間町目下茨城縣久慈郡大子町池田寛三男盛宣

◎婚姻 本籍月見町二〇湯本町湯本字笠井二五松本金作氏(二六)湯本町字寶海二八西奥りんさん(二五)

▲死亡 平市三町目一目下樺太豐原郡川上村齋藤三男氏(六〇)平市南町小川誠次郎(六〇)

天氣豫報

今晩は北西の風曇
明日は北西の風曇後晴

最上の墨色
文德墨汁
卓上用、一合瓶、二合瓶 五合、一升、一斗詰各種
特約店 文 魁文堂

適正價格……秋冬衛揃へ 電話 38 284
常に商品豐富
御用命は…………
平市 三井呉服店へ

簡易ノ金融 趣味ノ貯蓄
磐城無盡
縣内各町出張所

白衣勇士の退院には先づ花嫁を贈りませう

相當年輩の婦人が度々の慰問で傷兵と馴染になると笑談のやうに『このな片輪になつて嫁が來て呉れるでせうか』などゝ話しかけられることがあるやうです。

自分は立派な手柄をたてたのだ、と誇りを感ずる反面に一まつのさびしさが忍び寄つて來ます、それは生活の問題であり獨身の勇士には結婚の問題であります。傷痍の程度に比してこれらの不安は益々深刻になつて行くものであります。

有らゆる困苦に忍び缺乏に耐え、險惡な氣候風土と鬪ひつゝ興亞聖戰の犧牲となられた白衣の勇士にかゝる不安を與へてよいものでせうか。

再起奉公の第一歩を力強くふみ出そうとする退院の日に、傷痍の勇士へ花嫁をはなむけとして贈ることが出來たら、これ以上の慰めは他に無いのであります。

優生學上から云つても、壯丁の中から選ばれた體格の持主であるからたとへ身に戰傷を負ふたとて、立派な父親となり得る事は勿論であります。

女にして立派な子供を産み、それを丈夫に育てることほど幸福な生活はない、而かもこれこそ婦人として國家に對する最大の奉公なのであります。

この問題について大陸の花嫁と同時に最近活潑に呼びかけられるなりましたが、もう一歩この問題を推し進めたいものであります。

洋酒と喫茶
麗人のサービス
氣分本位の店
タイラ・ギンザ通り
グリル バッカス
電七二〇番

強力電氣應用
神經痛に特効
治療氣磁のハタフ
TEL193 町中 平

關内藥局

精神修養に……
"謠曲と仕舞"
喜多流 白土會
『入會隨意』平市田町六九

コンポーク
塩豚
平市田町
三二三屋
電三二三番

室内用 竹レール創始
高尚優美 無音低廉 防虫防腐製品
美くしく・打付けよい
國華竹レール
實用新案（二一四二八八 一九三六四七）號
京都府園部町 國華第一工場
仝 綾部町 國華第二工場
仝 宮津町 國華第三工場
東北六縣特約販賣店
合資會社 平銅鐵機械商會
代表社員 井尻七三郎
國華竹レール部
特約店募集
縣を單位に一市一ヶ所確實なる卸賣特約店
一郡單位に一町村一ヶ所確實なる小賣店を希む
御照會の折は見本携行早速社員參上御相談申上候

干やなぎ
賣り始めました
平市土橋
仙丸仙商店
電話六二二番

開業
内臓外科
整形外科
平市大町二番地
内木外科醫院
醫學博士 内木宗八
入院隨時

タンス・鏡臺
御婚禮調度品を取揃へました
是非
和久井屋へ
御越下さい
平市一丁目【電話四〇五番】

募集
永續者には將來の保證を致します
ボーイさん
◈堅實な營業方針の サロンのお客様は當地一流の方々です
◈色々な方に接することが 社交儀禮の實際に學び 成功の糸口ともなります
調理見習婦人
◈定評ある サロンの調理法を御傳授いたします
◈見習ひとして調理場に御勤務出來る御婦人に限る
◈14歳以上30歳迄の健康な方
◈3年以上勤續出來る方
◈親權者若くは本人御來談下さい
平市銀座街
電話529
サロン

産科・婦人科
◎入院隨時
平市田町
井坂醫院
電話五五九番

職工及見習工募集
平市月見町
合資會社 佐藤鐵工所
電話三六二番

太鼓樂器 各種
▽神社佛閣用太鼓
▽武德道場用太鼓
▽歡送迎用音樂隊樂器（タナベ製品）
……カタログ進呈……
平市六町目
佐藤太鼓樂器店
電話四八三

おやしい
◎冷凍魚
鯛 エビ
鮭 イカ
金頭 貝燒
帆立貝 其他
日本水産特約（電二二八・三一六）
卸小賣平製氷會社
市内ハ一尾一箱ヶ届けます
平代理店 卜印魚問屋
四丁目（電五二八）

健康の秋！
一家揃つてハイクのお歸りには……
石城の桃源境
小瀧鑛泉
湯本・小名濱間景勝の地
御送迎に馬車の用意あり

債券・公債
兩替・金融
多田井質店
平市大工町 電五九一

洋服 高島屋

十一屋食堂
平局前 電話三七三番（ミナサン）
出前迅速
女店員・コック見習 至急入用

（大正八年三月七日第三種郵便物認可）昭和

夕刊
磐城時報
廿六日發行
編輯兼發行 印刷人 岡田弘成
印刷所 磐城時報社
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金廿錢
廣告料一行十四字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

現の計畫で平市建設委員は屢報の如く過般來縣命な努力を續けた結果大口寄附者である日立鑛山、磐城、入山、古河等炭礦關係、平市出身三井榮一氏等より相當大額な寄附承諾あり建設資金の七十万圓は早晩決定される模樣である、而して平市當局で

電力を節約せよ
市役所から注意書

電力及びガスの需要は昨今非常に增加したが需要に應ずるには供給を急激に增加せねばならな

趣旨に依り實行すること

小川江筋

中の處十三年度を以て工事完了したので農林省水利課藤原技手が十一月一日竣工檢査のため來郡する

四倉町民体育大會

恒例四倉町民体育大會は來る十

ではないでせうが秋らしくなりました

色々の實（バナ、バ、イヤ等）黄色く色つき南支の秋も内地では見られぬ美しさがあります野山は秋とは云ひ青々と茂つて居ります、憶ひ起せば早一ヶ年になりました只々感慨無量です、バ